

5年 国語 グラフや表を引用して書こう

京都府亀岡市立南つつじヶ丘小学校  
目野 有里絵

一斉学習 同時進行型

実践タイトル 学びの共有に電子黒板を生かす

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・拡大したり移動したりすることや書き込みをしたりすることで、情報を共有し、よりよく理解できるようにする。

指導者用デジタル教科書

・児童の手元にある教科書と同じものを大きく映すことで、共通理解する。既習事項を振り返る。

参考にしてほしいポイント

- ・児童がデジタル教科書を使って推敲の観点を確認する。
- ・3人グループで推敲をしあう学び合いのスタイル。あえてICTは使わない。
- ・全体共有は電子黒板で。書き込みや拡大・移動を使い議論の焦点化をする。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを確認する。</li> <li>・意見文の推敲をしよう</li> <li>・推敲の観点を確認する。</li> <li>・電子黒板に映ったデジタル教科書の例文に、児童が書き込みをしながら観点を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板</li> <li>・指導者用デジタル教科書(国語)(写真1)</li> </ul>
展開 10 40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人1組で互いの意見文を推敲し合う。</li> <li>・色でよいところ、改善するところを区別する。</li> <li>・意見文に直接書き込みをするともに、質問や改善点などを伝える。</li> <li>・全員で推敲した内容を検討する。</li> <li>・児童が電子黒板に自分の意見文を映し、推敲した内容を書き込みをしたり拡大・移動をしたりしながら説明し、意見を出し合う。</li> <li>・グラフだけでなく表や図、写真と関連する話題が出ていたときには、前単元「天気を予想する」を活用しながら交流を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板/実物投影機</li> <li>・児童作の意見文(ワークシート)(写真2)</li> <li>・指導者用デジタル教科書(国語)(写真3)</li> </ul>
まとめ 40 45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りをする。</li> <li>・本時に推敲した内容をもとに、次時では清書していくことを知らせる。</li> </ul>	

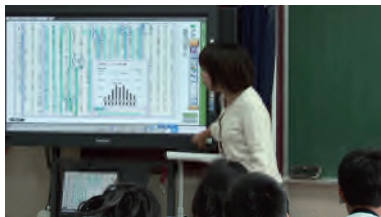


写真1: デジタル教科書で推敲の観点を確認



写真2: 実物投影機で児童同士推敲しあった意見文を提示

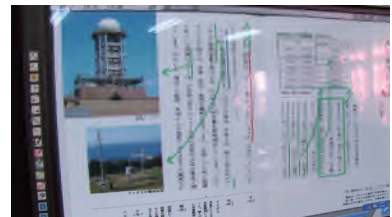


写真3: 前単元の内容を提示し学習を想起

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・デジタル教科書で推敲の観点を確認したときは、手元の教科書と同じものが映るので、どこを指しているのかがすぐに分かり、全体の共通理解をスムーズに行っていた。
- ・また実物投影機で児童の作品を映し、全体で検討したときは、意見文のどこを推敲したのかが一目瞭然で、また、グラフの説明をしているときにグラフを拡大することにより、グラフをどのように読み取ったのか、その思考過程を共有することができていた。

活用効果

評価の観点

・書く能力

具体的変容

・デジタル教科書で「グラフや表を説明するときの観点」を確認し、意見文を書いたり推敲したりした。その結果、確実に「考え」と「根拠」を分け、書くことができた。

実践の手応え

- ・学びのさまざまな共有がスムーズに行えた。書き込みをはじめ移動や拡大、前単元に戻る機能等を使うことによって、児童にも分かりやすく推敲の観点を知らせることができた。